

かかりつけ医って、 なあに？

日本医師会は、国民の皆さんにかかりつけ医をもつことを推奨しています。
かかりつけ医とはどのような存在なのか？
そしてなぜ、かかりつけ医をもつ必要があるのか？
みなさんの疑問にお答えします。

日本医師会
キャラクター
「日医君」



かかりつけ医って、
何ですか？



健康に関することを何でも相談でき、
必要な時は専門の医療機関を紹介してくれる、
身近で頼りになる医師のことです。

かかりつけ医は1人に限定する必要はなく、体調が悪い
時などにまず相談する、自分が信頼できると思った医師であ
れば、かかりつけ医と呼んで構いません。

契約書や届け出の書類も不要です。

病気はインターネット
で調べれば十分。

どうして、
かかりつけ医を
もつ必要があるの？

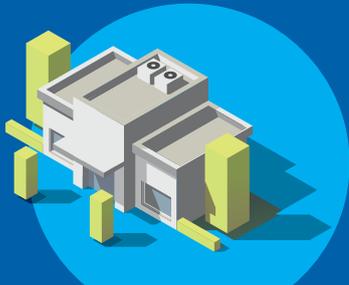


かかりつけ医がいれば
重症化予防にもつながります。

最近では、インターネットで病気や症状、治療法などを調
べる人が多くいますが、情報量は膨大ですし、その質もさま
ざまです。もし自己判断で間違った対応をすると、かえって
重症化する心配もあります。そんな時、かかりつけ医がいれ
ば、的確な診断やアドバイスをしてくれます。

また、日頃の状態を理解しているかかりつけ医であれば、
ちょっとした体調の変化にも気づきやすいため、病気の予防
や早期発見・早期治療が可能になります。

かかりつけ医って、
内科の医師や
診療所の医師
のことでしょう？



診療科や医療機関は問いません。

内科医がかかりつけ医と思われがちですが、どの診療科の医師でもかかりつけ医になれます。

例えば、お子さんや家族が診てもらっている医師でも、あなたの健康のことを相談できるのであれば、かかりつけ医と言えます。

また、診療所に限らず、ご自身が信頼できると思えば、どの医療機関の医師でも、かかりつけ医と言えるのです。

かかりつけ医
と言っても、
専門外のことは
分からないのでは？



さまざまな医療機関と連携し、
適切な医療機関を紹介してくれます。

かかりつけ医は、自分で対処できない場合には適切な医療機関を紹介してくれます。

そのとき、かかりつけ医は病状や経過など治療に役立つ情報を添えて、紹介状を書きますので、紹介先の医療機関では、それらを参考にして、診断・治療をすることができます。

このように、かかりつけ医をもっていれば、より適切な医療を受けられるのです。

かかりつけ医は、
どうすれば
探せますか？
探すポイントは？



健(検)診の機会を利用したり、
地域医師会のホームページを
参考にしてみましょう。



健(検)診、予防接種などの機会を利用して、まずは自宅や職場の近くの医療機関に行って、医師と話をしてみましょう。質問しやすい、説明が分かりやすいなど、コミュニケーションがとりやすいことは、かかりつけ医を決めるポイントの一つです。

地域医師会のホームページにはその地域の医療機関情報などを紹介しているところもありますので、そちらもご参照ください。